

タカオカ化成工業の第2工場

1 第2工場の竣工

TPM活動を推進するタカオカ化成工業では、生産ラインの効率化をめざしてTPSの考え方を取り入れた工場整備を進めているが、この度、超高圧用機器（例えばGIS）に用いられるモールド部品の生産ラインを中心とした第2工場を2015年9月28日に竣工させた。竣工式では、製品をお使いいただいている海外のお客さまにもご参加いただき、新しい生産ラインをご見学いただいた。

タカオカ化成工業の主力製品であるモールド変圧器の生産ラインは、すでに2014年5月12日に第1工場として竣工しており、第2工場の建設によって、当初に計画した工場整備は完了した。

2 工場整備の概要

工場建設時のコンセプトは、一方向へ流す（後戻りをさせない）ラインをめざし、既存設備を最大限活用して流れを清流化させた。

第1工場には、モールド変圧器、配電用モールド部品、電源装置、セラミックの各事業の生産ラインを整備した。

第2工場には、超高圧モールド部品、FRP部品、環境の各事業を整備した。

3 今後の進め方

タカオカ化成工業の基本方針「3年以内の新商品、新しいお客さまによる売上高比率を30%以上を継続する」に基づき、新製品開発を進めている中で、第3工場の建設も視野に入ってきた。お客さまのご期待に応えるべく、今後も精進を重ね「お客さまに感動していただける職場」を構築していく。



第2工場竣工式の記念写真